

令和元年度 船員安全・労働環境取組大賞（特別賞）

受賞者：日本郵船株式会社

取組の名称：機関整備中の人身事故防止及び機関データ活用

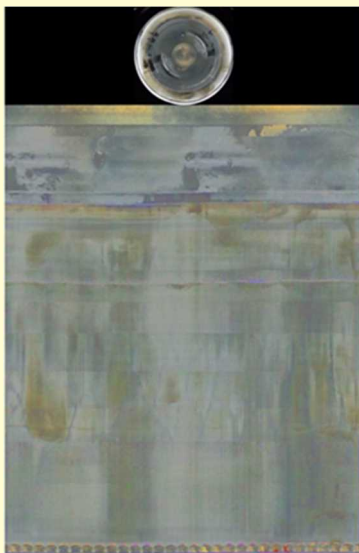
取組の概要：当社は船舶エンジン内部自動撮影装置「きらり NINJA」を開発し、船員の負担になっていた高温環境での長時間作業を大幅に軽減しました。

【具体的な取組の内容】

これまでは船員がデジタルカメラなどでエンジン内部を撮影していたため人身事故に至るケースがありましたが、装置の導入により高温環境での長時間作業の大幅軽減のほか、人身事故の防止にもつながりました。

さらに「きらり NINJA」で取得した画像データを運航データと組み合わせ、状態をより高度に診断できる独自の燃焼室診断ソフトウェアを開発し、事故の予兆や不具合原因の早期特定をするなど、安全運航実現のためにも活用しています。

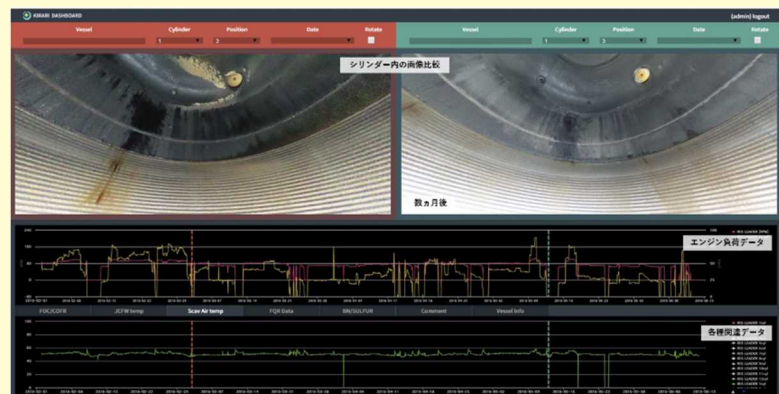
撮影データ展開図
(ライナー)



きらり NINJA 本体



燃焼室内診断ソフトウェア



【具体的な成果】

きらり NINJA 搭載船において、主機シリンダー筒内状態の確認に費やす作業時間短縮。

100 時間/年（1 隻あたり）